

小千谷市地域DX推進基本方針



令和8年2月

Mission

笑顔と希望を育む「おぢやの輪」をみんなで未来へつなぐまち

本市は、人口減少、少子高齢化、地域医療・インフラの維持、担い手不足による事業継承や、構成員の減少による自治会機能の維持が困難となるなど、多くの課題に直面しています。

社会環境が大きく変わる中でも、デジタル技術やデータを活用して行政サービスと業務を見直し、限られた資源で最大限の効果を生み出すことで、誰もが笑顔で安心して暮らせるまちの実現を目指します。



Vision 2040年 目指す小千谷市の将来の姿



暮らしやすさを
実感できるまち

- どこからでも行政手続きや相談ができる
- 誰もが移動に困らず、必要なサービスにアクセスできる
- 日常の困りごとを地域で支え合える仕組みがある



職員が市民と
向き合う組織

- 単純な事務作業が効率化され、市民との対話や政策立案に注力できる
- 新しいことに挑戦しやすく、学び続けられる環境がある
- 市民に寄り添い、共に課題を解決できる



持続可能な
地域基盤

- 施設やサービスの効率的な管理がされている
- 資産が有効活用され、新たな人の流れが生まれている
- 市民・行政・企業それぞれの強みを活かした地域課題の解決に取り組んでいる

Value すべての職員が大切にしている行動指針

現場から学び課題の本質をつかむ

現場に足を運び、市民や職員の生の声から真の課題を見極めます。

多様な意見を丁寧に聴き取り、実効性のある施策につなげます。



多様な主体と協働し、共に解決する

行政・市民・企業がそれぞれの得意分野を活かし、協力して課題を解決します。

行政だけでは解決困難な課題も、多様な視点と強みを組み合わせることで、解決策を生み出します。



小さく始めて改善を重ねる

小規模な試行から始め、実践を通じて課題を発見し、改善を繰り返します。

PDCAサイクルを素早く回し、現場の実態に即した施策へと磨き上げていきます。



挑戦し学び続ける

新しいことに挑戦し、失敗からも学びを得て、成長し続けます。

前例踏襲にとらわれず、変化を前向きに捉え、自ら考え行動します。



Enabler 実現するための基盤

この方針を実効性あるものとするため、以下の環境整備を進めます。

DX推進によるMission / Vision / Value の実現

組織基盤の強化

部署間連携の促進と柔軟な組織体制の構築

DX推進を支える専門人材の配置・育成

職員の成長支援

時代に合わせたスキル取得や企画力を高める研修の充実と自己研鑽の推進

外部人材からの助言・支援を受けられる
機会の創出

挑戦できる環境

業務効率化による時間的余裕の創出

挑戦ができる、評価される仕組みの構築